

⑤2024年問題への取組みについて

	三重西濃	東京西濃	西濃通運	昭和冷蔵	エコアライアンス
新たに 取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの長時間労働の要因となっている荷卸し場所での長時間の待ち時間・付帯作業による荷役時間の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間の目標を立て、月の途中でも月間残業時間を予測し、残業時間を抑制する。ドライバーだけではなく、倉庫作業員においても残業時間を常に把握する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの正確な時間管理への対応として、スマホを活用した勤怠管理システムの運用を開始。スマホを活用することにより、泊まり運行での出退勤を記録。デジタコのデータとマッチングさせることで、正確な実労働時間を把握する 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗納品ドライバー負担になる作業の洗い出し →特定店舗で荷受け担当が他業務と兼務の為、商品到着から荷受け開始まで手待ち時間が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託コースごとの課題の抽出 ・乗務員のスキルアップと積載技術の均一化
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・配達先が食品関係のお客様の多くが荷卸し時間・荷役作業に対する制約があり、配達に手間・時間が掛かっているため、ドライバーの労働環境改善や働き方改善のために、お客様にも認識を持っていただき、改善に繋がるように、荷受け体制への要望文章を作成し交渉を行っている。 効果・実績については、現在交渉段階です 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期の12月においても突発的にドライバーが退職した店所以外は残業時間を目標内に抑えることが出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸切輸送は、定期と違い労働時間の管理が難しい。正確な時間の登録を要求することで、乗務員一人ひとりが正確な時間管理を行うようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗担当者、物流担当者及び弊社配送管理者と打ち合わせを行ない、荷受け場所に呼び出しブザーを設置 (古い店舗の為設置が無かった) →これにより不在であった場合でも車両到着を知ることが出来、手待ち時間の削減に繋がった 【削減効果】 ・手待ち:5~10分…日当たり 	<ul style="list-style-type: none"> ・不効率コースの改善及び切替 ・ローテーション化の拡大と新たな輸送モード構築。33名中30名が対応可能